



県がすすめている取り組みを紹介します！

民生委員・児童委員

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れる中、高齢者、障害のある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまい、必要な支援を受けられないケースが増えています。また、相次ぐ自然災害に備えるためにも、日頃から住民が互いに支えあうまちづくりが一層重要となっています。

そのような中、民生委員・児童委員の皆さんは、地域住民の身近な相談相手として、さまざまな活動を行っています。

民生委員・児童委員とは

厚生労働大臣の委嘱を受けた非常勤の地方公務員で、地域住民の一員として生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行います。困っている人が必要な支援を受けられるようにするため、行政などへの「つなぎ役」としての役割も担います。

任期は3年で、次回の改選は12月です。選任は、市町民生委員推薦会および県知事の推薦などを経て決定されます。

どんな活動をしているの？

高齢者や子育て家庭の居場所づくりや仲間づくりのため、公民館などでの「サロン活動」の運営に協力しています。

子どもの登下校時に見守りや声かけを行います。子どもにとって地域の身近なおじさん、おばさんとなり、時には悩みごとの相談にもなります。

相談の内容や個人の秘密は守られます。安心して気軽に相談してくださいね！

地域の課題や住民支援に協力して取り組むため、行政機関や関係者と定期的に打ち合わせを行います。

1人暮らしの高齢者や子育て家庭・生活困難家庭など、地域の住民を訪問し、日常生活での困りごとなどについて、相談にのります。

消防団や自主防災組織などと協力し、災害に備えたまちの危険箇所の点検や避難訓練などに協力しています。

地域の民生委員・児童委員について知りたい方は、お住まいの市町へお問い合わせください。



夢をかたちに！

長崎県知事
中村法道

県内各地域で約3,500名の方々に民生委員・児童委員として、活動いただいています。安全・安心に暮らせる社会づくりを目指し、引き続き民生委員・児童委員の活動を市町と共にサポートしてまいります。

問合せ 県の福祉保健課 ☎095-895-2416



宅飲み屋 CaN
空き家サービスカッテグチ
(川棚町)

お話を伺ったのは
い だ ち おお
代表 飯田千織 さん



地域おこし協力隊として 川棚の魅力を発掘・発信！

昨年11月までの3年間、川棚町で地域おこし協力隊として主に商工観光の振興と情報発信の活動を行いました。まずは、「わらしべ長者」風に物々交換を繰り返しながら町の皆さんと仲良くなることからスタート。その後、「クジャクのまち川棚」をもっとPRするためのクジャクグッズ専門マルシェなどの企画やイベントを実施し、SNSを使っての川棚の魅力を発信にも取り組みました。



地域おこし協力隊時代にオープンした日本初のクジャクグッズ専門マルシェ「くじゃっkērs」

やりたいことをやって 町の課題も解決

任務満了後は川棚で起業する道を選びました。一番の決め手は川棚が好きだということ。ここなら自分のやりたいことにチャレンジできるし、私にとって一番楽しい道だと思えたからです。今、最もやりたいことは、町の課題にもなっている空き家の管理です。空き家は定期的に通気や換気を行うことで維持することができます。それをさらに移住者向けに活用できれば、まちにもっと活気が生まれるのではないかと期待しています。



県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります！

地域のためになることで 川棚に恩返しを

空き家の管理に加えてオープンしたのが「宅のみ屋CaN」です。缶詰などのおつまみとお酒を自宅のような気軽さで楽しめる大人のコミュニティスペースにしていきたいと思っています。

移住者の私を温かく受け入れ、活動に協力してくれた町民の皆さんに、今度は私が恩返しをする番。また、起業したいと思っている若者の相談にも乗りたい。そのためにも、まず私が今の仕事を軌道に乗せる必要があります。これからの本当の意味でのスタートです。



「宅飲み屋CaN」は町内のさまざまな人たちが気軽に集える場所



やる気のある若者に、
「迷ってるならやってみれば！」と
背中を押してあげたいですね。